

## 第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

### 報告書資料 復興支援－04

学校名・団体名	大船渡市立大船渡中学校
HPアドレス	<a href="http://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=0320006">http://www3.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=0320006</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	災害から身を守り、支援者としての活動ができるようになろう。
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>これまで2年間に渡って、「ちゅうでん教育振興助成」の対象となってきた。平成25年度は、郷土芸能や合唱の練習成果を国内外に発信することにより、支援への感謝の気持ちを伝える活動に取り組んできた。平成26年度は、Q-Uを活用した生徒の心のケアと本校の伝統である合唱活動を取り入れた表現活動に力を入れてきた。</p> <p>今年度は、防災・復興教育における共助・扶助という視点に立って、避難場所に指定されている本校及び生徒たちができることを模索していきたいと考えている。</p> <p>そこで今回のちゅうでん教育振興助成に申請することにより、これまで培ってきた学習内容をより充実発展させることができると考えた。</p>	

## 1 活動時期および内容

- (1) 6月 5日(金) 昼休み時間から5校時  
昼休み時間に火災を想定した避難訓練の実施。及びその後、大船渡消防署員によるAED操作訓練、緊急時搬送訓練等の緊急時の訓練の実施。  
対象は、全校生徒及び仮設住宅住民の一部。
- (2) 9月15日(火) 理科の時間  
「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」を活用した、学校防災アドバイザー(盛岡気象台の予報官と技官)による、異常気象に伴う私たちの心構えと対応についての学習。  
対象は、2年生全員。
- (3) 11月4日(水) 学級活動の時間  
県教委作成の防災副読本(いきる かかわる そなえる)の中の「そのとき、どうする?」の活用。  
対象は、2年生全員。
- (4) 11月16日(月) 3~4校時  
地震・津波を想定した小中合同の避難訓練と引き渡し訓練の実施。大船渡小学校の児童全員が本校の避難場所へ移動し、合同訓練を実施。  
対象は、大船渡小学校及び本校生徒全員。

## 2 成果

- (1) 災害には様々な種類があり、それぞれの対応の仕方の違いに目を向ける事ができた。
- (2) 地域に潜んでいる災害の危険性について、理解を深める事ができた。
- (3) 災害に対する心構えについて、「自分が災害に巻き込まれると思わない」というような考えを改める事が必要である事を理解できた。
- (4) 自分の命は自分が守ること。また、地域を知り、自分たちにできることを考える機会が与えられた活動を展開することができた。

## 3 課題

- (1) 自分たちが住んでいる地域の災害に関する情報を、ハザードマップ等を利用して直に目で見て確かめておくことも必要である。
- (2) 防災に関する知識を教科学習と関連させながら理解を深めていく必要がある。
- (3) 今回の助成金で購入した北アルプス立山連邦5年保存水及びビスコ保存缶については、非常時に学校に宿泊しなければならない状態になった時に使用するものである。そのような状況を想定した非常時訓練を今後の防災計画の中で検討していく必要がある。